

国際協力ふりか えり年表

1954年に始まった日本の政府開発援助 (ODA)。世界と共に歩んできた60年を見よう。

日本の動き		世界の動き	
1945	第二次世界大戦終結	国際通貨基金 (IMF)、 国際復興開発銀行 (現:IBRD、世界銀行) 設立	
1946		国連国際緊急児童基金 (現:国連児童基金) 設立	
1950		「コロンボ・プラン」発足	
1954	1954 「コロンボ・プラン」に加盟 日本が国際協力をスタート 初めての日本人専門家派遣、研修員受け入れはアジア	 ©UN Photo/AF	
1956	国際連合に加盟		
1958	有償資金協力 (円借款) 開始 最初の供与先はインド		
1961		経済協力開発機構 (OECD) 設立	
1964	OECDに加盟		
1965	日本青年海外協力隊 (現:青年海外協力隊) の創設 第一次隊はラオス、カンボジア、マレーシア、フィリピン		
1973		第一次石油危機	早期に危機の影響から立ち直り、ODAの量的拡大へ
1974	1974 国際協力事業団 (JICA) 設立		
1976	日本の賠償支払いが完了		
1978	ODA第1次中期目標発表 ODAを3年間で倍増		
1979	国際緊急援助を開始 カンボジア難民支援に医療チーム派遣	第二次石油危機	
1989	1989 日本のODAがアメリカを抜いて世界第一位に 1991~2000年までODA供与額世界第一位		
1990			イラクのクウェート侵攻→湾岸戦争に発展
1992	1992 「ODA大綱」の制定		特に大きな影響を受けた東南アジア諸国に対し、300億ドル規模の資金支援スキームを構築
1997		 ©UN Photo/Terry Deglau	アジア通貨危機
2000			2000 ミレニアム開発目標 (MDGs) 誕生
2001			アメリカ同時多発テロ事件 (9.11)
2003	「ODA大綱」改定 「人間の安全保障」「平和構築」がキーワードに		アフガニスタン、イラクへの復興支援を強化
2004			スマトラ沖大地震・インド洋津波 国際緊急援助隊 (JDR) 派遣、緊急援助物資供与をはじめ、被災地の復旧・復興を継ぎ目なく支援
2008	2008 JICAが円借款、無償資金協力、技術協力を一元的に担う世界最大規模の二国間援助機関に 科学技術振興機構 (JST) と JICA の連携で「地球規模課題対応国際科学技術協力 (SATREPS)」を開始	 ©Kaku Suzuki	
2011	東日本大震災 (3.11) 世界第一位の被援助国に	 ©Mika Tanimoto	 ©Takeshi Kuno
2014	2014 ODA60周年		 ©Satoshi Takahashi